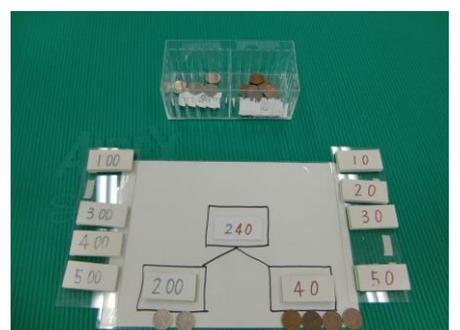


(番号 102)

品名	お金の支払い練習	
使用授業	生活単元学習、 自立課題	
主な目的	<ul style="list-style-type: none">・数量概念（位取り）がまだ十分に身に付いていない児童でも弁別とマッチングの力を利用して金銭を取り扱い，支払いができるようになる。・やり方や意味を覚えていく課程で，教師とのやり取りをし，社会性（そのやり取りが長く繰り返される）を育てる。	
使用方法	<ul style="list-style-type: none">・シートと数字カード，お金をセッティングする。・値段カードを提示する。・値段カードの数字を分解し，数字カードを並べる。・数字カードに合わせて「0のお金（10円玉）〇枚」「00のお金（百円玉）〇枚」とお金を数字カードの下にそろえる。	
注意点	<ul style="list-style-type: none">・数量の学習を行い，実生活に結びつけていくことが大切。ジグとしてお買い物で使用したい。・数量の学習だけではなく，教師とのやり取りの中で社会性を評価することが大切。	